

# 「グローバル社会のデジタルトランスフォーメーション（DX）」 にたいする疑問と課題のためのヒント（仮題）

村山泰啓

日本学術会議・連携会員  
内閣府「国際動向を踏まえたオープンサイエンスの推進に関する検討会」委員  
日本地球惑星科学連合・理事  
情報通信研究機構

*WDS International Programme Office Hosted by   
Based in Tokyo, Japan*

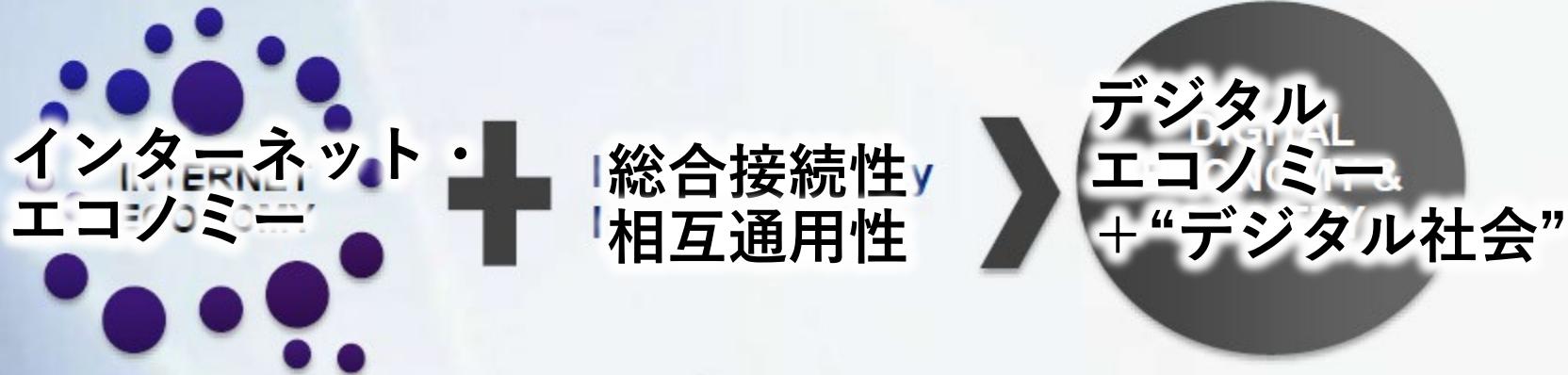
謝辞:本研究は、ベルモント・フォーラムの活動の一環として、JSTの支援を受けています。

# 情報通信技術(ICT)による社会の変化、 世界の変化

- ・発展途上国の携帯電話の急速な普及
- ・ICT、デジタルが市民の暮らしを変え始めている
- ・コロナ禍のなかのニューノーマル、テレワーク、・・・

# デジタル技術による経済、社会の統合へ向けて and society

From ITU Forum



*The role of the government is to facilitate advancement of an Internet economy with the vision to instill interoperability in order to usher in the digital economy*

## 政策の役割

- ・相互運用性（相互通用性）の促進
- ・これを通じてインターネットエコノミーの発展を促進する



[John Ure, Univ. Hong Kong, ITU Forum on Digital Economy in Thailand, Bangkok, 2015]

# UNDPデジタル戦略

## 今後の展望

デジタル技術は私たちの世界を変えようとしています。

より高速なインターネット、衛星データや画像、機械学習、人工知能（AI）は、私たちの生活や経済を豊かにしました。ほんの一世代前から認識できないこれらの技術は、複雑な地球規模の課題に対処し、人類と地球のために持続可能な繁栄を実現するのに役立ちます。

しかし、これらの技術は、私たちを引き離し燃料の不平等政府がこの急速に変化する技術環境に適応していく中で、UNDPが信頼され効果的なパートナーであり続けるためには、UNDPも適応していくなければなりません。



QRコードをスキャンして訪問します。

技術とイノベーションをより有効に活用し、活動する国や  
コミュニティにより良い結果を生み出す→SDGs etc.

UNDP 有効に活用し、活動する国やコミュニティにより良い結果を生み出すことが  
できるようになります。

また、デジタル技術の可能性をよりよく理解し、持続可能な開発目標の達成に向けたパートナーの取り組みや、それに伴うリスクやトレードオフを支援するために、どのようにデジタル技術を活用するのが最善かを理解するにも役立ちます。いつものように、私たちの努力が国連憲章と世界人権宣言によって定義された価値観と義務に支えられていることを確認します。

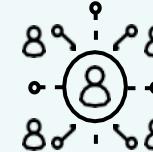


このデジタル戦略は、UNDPだけでなく、私たちの大切なパートナーの多様なネットワークに対しても、行動と革新を呼びかけるものです。この戦略を成功させるために、私たちは以下のことを行います。

### 学習の機会

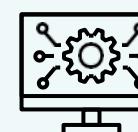


学習の機会に投資して、組織全体でデジタルの概念と能力についての共通理解を生み出す。



### デジタル・テクノロジーを活用

デジタル・チャンピオンのグローバル・ネットワークを構築し、デジタル・テクノロジーを活用するためのニーズを把握し、同僚をサポートします。



当社のスタッフやパートナーにこれらの技術の可能性を示すために、当社の業務のあらゆる分野で迅速なデジタル・デモンストレーション・プロジェクトを設計し、実施しています。



U N  
D P



このデジタル革命が、私たちの世界が直面している複雑な問題の革命的な解決につながることを確認するために協力していきましょう。

[UNDP資料のフォントサイズの変更等を加えた。  
赤字は村山による追記]

# G8、G7におけるオープンサイエンス、科学データ政策の潮流



2013年



RESEARCH DATA ALLIANCE



2016年



2017年



2019年

- 2013年 G8サミット（英）：G8国オープンデータ合意
- 「データ」を重要な科学技術の研究成果として位置付け。  
→国内外の科学政策動向へ影響。
- 2016年 G7科技大臣会合：  
→G7オープンサイエンス部会の設置
- 2017年G7科学大臣会合@イタリア
- 2018年G7アカデミー会合、G7科学シェルパ会合@カナダ
- 2019年G7科学シェルパ会合@フランス

デジタル  
データ



科学大臣会合(2016)にて講演。村山と林上席研(NISTEP)。



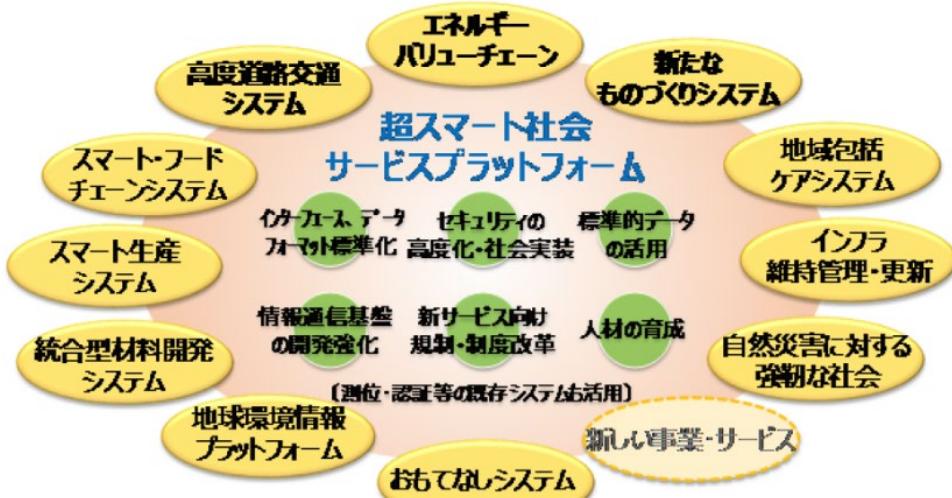
写真:2016年G7科技大臣会合写真:内閣府・茨城県・つくば市提供



WGにて。  
左から村山、原山CSTI議員、島尻科技担当大臣  
(肩書きは2016年当時のもの)

## ・日本・第5期科学技術基本計画 超スマート社会、**Society 5.0**の実現

- サイバー空間と現実社会を融合した超スマート社会の未来
- サービスや事業の「システム化」、システム間の連携協調



翻訳するならば、「社会・経済・市民全体で活用できるデジタルデータプラットホーム→「デジタルで社会の力を取り戻す」ではないか。 [内閣府,

<https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/5gaiyo.pdf>]

- ・ 「社会の基盤」→デジタルインフラ：基盤の変化により新たな発展を目指す。
- ・ 欧米では“ルールメイキング”を狙う？

## 欧洲デジタル単一市場戦略と、 欧洲オープンサイエンス・クラウド



**欧洲オープンサイエンスクラウド計画**  
(EUは67億€投資。内20億€はHorizon2020).

[from <http://www.eurogeography.eu/SoC/guidelines/stakeholders.html>,  
translated and modified by Y. Murayama]

# テクノロジーだけで変革する世界ではなくなっている



## Session 5: STI capacity building for achieving the SDGs

This session will build upon the previous one to explore existing STI policies for capacity building and science advisory systems, and discuss ways and means to bridge the gaps. The session will also review what it takes to

TUESDAY, 16 MAY 2017  
12:00 PM - 1:00 PM  
CONFERENCE ROOM 4, UNHQ

ジェフリー・ボルトン  
教授（英エジンバラ大）  
による講演スライドより：

